

建築工事施工結果報告書

（延べ面積が500㎡以下の建築物（中間・完了））

下記のとおり建築工事施工結果を報告します。
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

町田市建築主事 様

代表となる工事監理者

住所		電話	
会社名		()級建築士事務所 () 登録第 () 号	
氏名		()級建築士 () 登録第 () 号	

工事施工者

住所		電話	
会社名		建設業の許可 大臣・知事 第 () 号	
氏名		(法人にあつては、その事務所の所在地、名称、代表者の氏名)	

品質窓口責任者

氏名	
電話	()

下記の建築工事施工結果については、工事監理者より報告を受けました。

建築主

住所		電話	
会社名			
氏名		(法人にあつては、その事務所の所在地、名称、代表者の氏名)	

記

(1) 工事現場	①名称		工区 棟	③工事の種類	新築・増築・改築
	②所在地	東京都町田市			電話 ()
(2) 代表となる設計者	氏名		所属会社		電話 ()
(3) 構造設計者	氏名		所属会社		電話 ()
(4) 現場代理人(所長)	氏名		(5) 品質管理責任者	氏名	
(6) 階数	地上 階、地下 階、塔屋 階	(7) 建築面積	㎡	(8) 延べ面積	㎡
(9) 構造	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造 (造+ 造) ・その他 ()				
(10) 高さ	軒高 m 最高 m	(11) 確認済証交付機関			
(12) 確認・計画通知、年月日及び番号	年 月 日 第 号				
(13) 計画変更、年月日及び番号	年 月 日 第 号(変更内容は別紙)				
	年 月 日 第 号(変更内容は別紙)				
(14) 構造計算の方法	(X) ルート1-() ・ ルート2-() ・ ルート3 (Y) ルート1-() ・ ルート2-() ・ ルート3			限界耐力計算・時刻暦応答解析 その他 ()	
(15) 工事監理者検査事項	指摘事項・是正内容(別紙可)	工事監理者検査事項	指摘事項・是正内容(別紙可)		
(16) 工事監理者の総合所見		(17) 工事監理者組織(各担当分野と担当者名)		※ 受付欄	

(注意)

- 1 ※印のある欄は、記入しないでください。
- 2 提出及び記入は、原則として工事監理者が行ってください。
- 3 指摘事項と是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入してください。
- 4 完了検査では、中間検査報告済以降の事項についてのみ記入してください。
- 5 工事監理者総合所見欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入してください。

木工事施工結果報告(延べ面積が500㎡以下の建築物)

使用材料等

直接基礎	べた、布、独立、()		コンクリート	基礎	普通	Fc:18,21,24,()		
杭基礎	場所打ち杭, 打ち込み杭, 埋め込み杭, ()			~		Fc:18,21,24,()		
	RC, PHC(), 鋼管, ()			~		Fc:18,21,24,()		
	認定工法() 年 月 日 第 号		鉄筋	SR. 235,295 SD. 295(A, B),345,390,490, 重ね継手・ガス圧接・特殊継手				
木材	軸組工法	土台	檜・ひば・()	木材	枠組壁工法	土台	甲種枠組材(特級・1級・2級)	
		柱	檜・松・杉・柾・集成材()・()			床根太	甲種枠組材(特級・1級・2級)	
		横架材	檜・松・杉・柾・集成材()・()			端根太	甲種枠組材(特級・1級・2級)	
		耐力壁	檜・松・杉・柾・構造用合板()			側根太	甲種枠組材(特級・1級・2級)	
		床	構造用合板()・()			床・梁	構造用集成材(1級・2級)	
		母屋	檜・松・杉・柾・集成材()・()			まぐさ	構造用大断面集成材(1級・2級)	
		その他	檜・松・杉・柾・集成材()・()			天井	構造用集成材(1級・2級)	
	木造大断面	柱 (間柱を除く)	構造用大断面集成材 (1級・2級)			根太	構造用集成材(1級・2級)	
		横架材 (小梁を除く)	構造用集成材 (1級・2級)			垂木・棟木		
			化粧ばり構造用集成材 (1級・2級)			屋根梁		
		その他	()			たて枠	甲種枠組材(特級・1級・2級・3級)	
						上枠	甲種枠組材(コンストラクション・スタンダード)	
						頭つなぎ	構造用集成材(1級・2級)	
						大枠		
		その他	()					
使用金物の種類と規格	ホールダウン金物	()kN用、()マーク	羽子板金物					
	プレート金物		火打ち金物					
	アンカーボルト		その他					
使用釘								
コンクリートの試験検査結果 ※1								
ロットNO.	使用部位	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	品質基準強度 Fq(N/mm ²)	塩分 合否	供試体の 養生方法	判定基準強度 (N/mm ²)	4週強度試験結果 (N/mm ²)	合否 判定
	杭・地中梁・耐圧盤	18,21,24,	21,24,27,	合 否	現場水中 標準	21,24,27,		合 否
	杭・地中梁・耐圧盤	18,21,24,	21,24,27,	合 否	現場水中 標準	21,24,27,		合 否
	杭・地中梁・耐圧盤	18,21,24,	21,24,27,	合 否	現場水中 標準	21,24,27,		合 否
	杭・地中梁・耐圧盤	18,21,24,	21,24,27,	合 否	現場水中 標準	21,24,27,		合 否
コンクリート試験機関名 ※2								
生コン工場名								
【提出書類】		【提示書類】(後日返却します。)						
・特殊工法施工報告書		<ul style="list-style-type: none"> ・くいの施工計画書及び施工結果報告書 ・コンクリート配合計画書、各種試験結果報告書・鉄筋及び鋼材等ミルシート ・施工写真(配筋、スランプ試験、試験体採取、アンカーボルト) ・鉄筋圧接を実施した場合は、第三者試験機関による鉄筋引張試験・非破壊検査報告書 						

※1 令74条に基づく構造体コンクリートの検査

※2 建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱第4条による試験機関

※3 混構造の場合は、必要に応じて鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の施工結果報告書を提出してください。

※4 CLT工法の場合は、主要木材を別に報告してください。

木造確認項目報告

確認項目	検査内容及び判定基準		確認方法 ※	
			工事 施工者	工事 監理者
1 全体・共通事項	令3章8節	a) 柱, 横架材, 筋かい, 土台等の位置の確認		
	令3章8節	b) 木材の樹種, 等級, 形状, 寸法の確認		
	令3章8節	c) 金物の種類, 規格, 品質, 形状, 寸法及び緊結方法, 緊結の確認		
	令3章8節	d) 釘の種類の確認		
	令47,告示1460	e) 継手及び仕口の接合方法の確認		
2 基礎・地盤・土台 (くいは試験ぐいと本ぐいそれぞれについて記載する。)	令38,告示1347	a) 地耐力の確認(支持層 層 地盤改良 kN/m ²)		
	令38,告示1347	b) 杭の工法, 品質, 位置, 径, 長さ, 本数, 杭頭処理, 偏心による補強及び支持力の確認 (偏心 mm以下・支持力 kN/P以上)		
	令38,告示1347	c) 基礎及び地中梁の種類, 位置, 形状, 寸法の確認(基礎高さ mm)		
	令38,告示1347	d) 鉄筋の径, 本数, 間隔, 形状, 定着, 継手及び配置の確認		
	令38,告示1347	e) 基礎及び地中梁の貫通箇所の位置及び補強の確認		
	令38,告示1347	f) 型枠寸法及びかぶり厚さの確認		
	令38,告示1347	g) 打設後の養生(コンクリートの養生及び型枠, 支柱の取り外し等)を適切に行なったことの確認		
	令38,告示1347	h) 地盤の不同沈下等(基礎に有害なひび割れが無いこと等)の確認		
	令38,告示1347	i) 床下換気孔(又はこれに代わるもの)の確認		
	令42	j) アンカーボルトの材質, 形状, 寸法及び配置, 定着, 緊結状況の確認		
3 在来工法・木造大断面	令3章8節	a) 構造耐力上必要な部分に使用する軸組材(柱, はり, 筋交い, その他の耐力壁等), 床材及び屋根下地材の種類, 品質, 形状, 寸法及び位置の確認		
	令3章8節	b) 柱(通し柱, 管柱), 間柱, 梁, 桁, 土台, その他の横架材, 筋かい及びその他の耐力壁(構造用合板)の形状, 寸法, 配置の確認		
	令3章8節	c) 柱(通し柱, 管柱)と梁との緊結及び緊結方法(Z金物及びC金物等の工法による)の確認		
	令3章8節	d) 筋かいの緊結及び緊結方法(Z金物及びC金物等の工法による)の確認		
	令3章8節	e) 柱(通し柱, 管柱)と土台, その他の横架材との緊結及び緊結方法(Z金物及びC金物等の工法による)の確認		
	令3章8節	f) 構造用合板の緊結の確認(釘間隔 cm以下)		
	令3章8節	g) ホールダウン金物の品質, 形状, 寸法, 位置, 緊結及び緊結方法の確認		
	令3章8節	h) 床根太, 床梁, 胴差との取り合い及び床下地の取り付けの確認		
	令3章8節	i) 小屋組の形状, 寸法, 緊結及び緊結方法の確認		
	令22	j) 床高さ(又は床下防湿)の確認		
	令43	k) 柱の欠込み部及び通し柱に代わる管柱の補強の確認		
	令44	l) 横架材に構造耐力上支障のある欠込みの無いことの確認		
	令45	m) 筋かい等の欠込み部の補強の確認		
	令47	n) 釘打ちの方法の確認		
令46	o) 火打ち材の設置状況, 剛床の確認			
令46	p) 小屋組の火打ち材, 振れ止めの設置状況等の確認			
4 枠組壁工法	告示1540 告示1541	a) 構造耐力上必要な部分に使用する枠組材の品質, 寸法及び配置の確認		
		b) 構造耐力上必要な部分に使用する床材, 壁材及び屋根下地材の品質及び寸法の確認		
		c) 構造耐力上必要な部分に使用する釘及びネジの品質及び寸法の確認		
		d) 土台, 床根太, 端根太及び側根太の品質, 寸法及び配置の確認		
		e) 床の各部材相互及び床の枠組と土台又は頭つなぎとの緊結の確認		
		f) 壁の各部材相互及び壁と床, 頭つなぎ又はまぐさ受けとの緊結の確認		
		g) 小屋組各部材相互及び小屋組の部材と頭つなぎ又は屋根下地との緊結の確認		
5 混構造		a) 木造部分と木造以外(造)部分の間の取り付けの確認 (取り付け方法:)		
6 防腐防蟻措置	令49	a) 防腐及び防蟻措置の確認(地盤から mm)		

※ 確認方法

- A: 工事現場で目視により確認したもの。
- B: 工事現場で検査機器を用いて計測検査したもの。
- C: 報告(工事管理者の場合は施工者による報告, 検査機関の場合は工事管理者による報告)により確認したもの。
- D: 工場等で検査機器を用いて計測試験し, その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの。
- E: 第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し, その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの。
- F: 工事監理者(構造担当: 会社名 氏名)が直接確認したもの。

施工者及び工事監理者がAからFまでの確認方法を参考に記入する。また, 配筋工事等の重要項目については, 表紙の工事監理組織欄に構造端と果やが記載されている場合で構造担当が直接確認したものについては, A+F, B+F, A+B+C+F等と記入する。